



印刷用データについて

お願い

データをご入稿いただく際は、**必ず弊社のテンプレートをご使用ください。**

テンプレートは弊社ホームページからダウンロード頂けます。

※弊社のテンプレート以外にてご入稿いただいた場合、再入稿頂いた上で納期が遅れる可能性もございますのでご了承ください。

テンプレ
DLは
こちら!



ご入稿の際に必要なデータについて

データご入稿の際は、**イラストレーターデータをご用意ください。**

✓ 配置画像のカラーモードはCMYKになっているか

カラーモード RGB は、液晶上での発色は鮮やかですが、印刷時の CMYK モードに変換されると色がくすんだ印象になります。イメージの違いが生じないよう、カラーモードは CMYK へ変更してください。

✓ 画像の解像度は 300dpi 以上あるか

300dpi 以下の画像ですと、荒い画質のプリントになってしまいます。必ず 300dpi 以上の解像度にて画像をご用意くださいますようお願いいたします。

✓ コンパデータ (仕上がりイメージ) を必ず添付ください。

入稿データと、完成イメージに行き違いが生じないように、必ず仕上がりイメージを添付くださいますようお願いいたします。仕上がりイメージデータは、PDFもしくはJPEGにてご用意ください。添付の無いものについては、仕上がり違いの責任は一切負いかねます。

✓ 線や文字にリッチブラックを使用していないか

リッチブラックとは、K100% のみの黒ではなく、CMY を重ね合わせた「混色の黒」のことです。一般的により鮮やかな黒を演出する際に用いりますが、細い線や小さな文字に使用するとインキの滲み等でぼやけるなどの恐れがあります。

✓ フォントやテキストのアウトライン化に漏れはないか

文字データは全てアウトライン化をお願いいたします。尚、イラストレーターの「効果」で作成された角アールなども、[オブジェクト] → [アピアランスの分割] より適用させていただきますようお願いいたします。

✓ 不要なパスや孤立点・不要なレイヤーはないか

特にイラストレーター上では、不要なパス・オブジェクトが残りがちですのでご注意ください。[選択] → [オブジェクト] → [余分なポイント] 等利用し、ご確認ください。また、フォトショップにつきましてはレイヤーの結合をお願いいたします。

✓ 配置画像は全て埋め込み処理を行ったか

リンク画像の入稿漏れやファイル名の文字化け等、トラブルを防ぐためにも、配置した画像は必ず埋め込み処理を行ってください。

✓ オーバープリントは正しく設定しているか

オーバープリント設定はトラブルの原因となります。トラブル防止のため、オーバープリントのチェックは外してください。イラストレーター [ウィンドウ] → [属性] にてチェックの確認

カット加工データ入稿について

カットにて切り出す商品につきましては、以下の点にご確認ください。

加工有効サイズにご確認ください

板面の端まで文字やイラストを配置すると、加工の際に途切れてしまう可能性があります。板面のサイズより内側へ四方「4cm程度」の余白を作ってください。弊社で取り扱っている板サイズは主に 900mm×1800mm になります。

クリッピングマスクや白の四角等で隠したパスにご確認ください

加工機はイラストレーターで作成されたパスのラインに沿ってカットしていきます。マスクされた画像や不要部分を白の四角などで隠したパスにも反応しますので、必要なカットラインのみのデータを作成ください。

パスを連結させてください

加工機のエラーの原因となる可能性がありますので、パスは必ず始点と終点が連結して閉じられた状態にしてください。

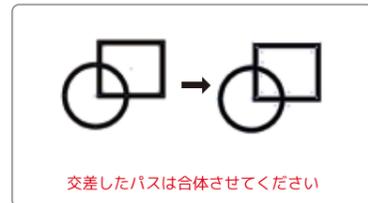
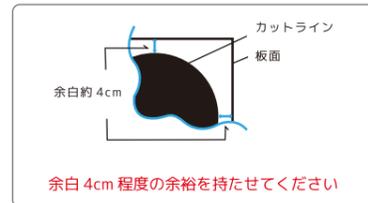
パスを合体させてください

パスが交差して重なっている部分は、全て合体していただきますようお願いいたします。

幅が細い、または先端のとがった文字や図形にご確認ください。

3mm 以下の幅の図形や、先端のとがった図形等は仕上がりが変わる場合があります。加工する材質によって仕様が異なりますので、事前にお問い合わせください。

小さな文字や細いライン、デザインの形状によっては加工をお受けできない場合もございます。あらかじめご了承くださいませようお願いいたします。



マジカルスクリーン入稿データについて

光を通さないUV3層印刷について

1層カラー版印刷部分：背面からの光が透過します。

2層白版印刷（カラー+白インク）部分：背面からの光の透過が少し弱くなります。

3層黒版印刷（カラー+白インク+黒）部分：背面からの光は透過しません。



⚠ データ作成上のご注意

・光を透過させたくない部分は、3層目の黒版印刷部分をスミ100%のデータで作成してください。2層目の白版印刷部分もデータではスミ100%で作成してください。
・1層目のカラー版印刷部分と2層目の白版印刷部分と3層目の黒版印刷部分がズレてしまうと下の層のインクが見えてしまいますので、データ作成の際はご注意ください。

3層印刷データの注意点

